

校種：小学校第2学年

教科：算数

教材名「分数」

(1 / 2 時)

4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連



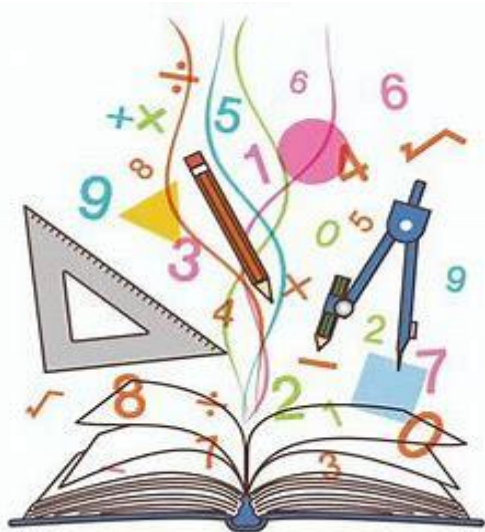
目標4 質の高い教育を

目標10 公平にするためには

視点1 「持続可能な社会の創り手」との関連

「数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度」を養う。

【小学校学習指導要領解説 算数編 P19】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



視点2 「個別最適な学び」と 「協働的な学び」を一体的に捉えた学習活動

指導の 個別化

ノート記録が困難な児童に対しては、本時で使うワークシートを配布して貼らせたり、どこに何を書いていいかわからない児童に対して実物投影機を使ったりしてノート指導を行う。また、イメージを持たせるために具体物を用いる。

学習の 個性化

児童が、繰り返し練習をしたり、自分に合った学習を進めたりしていけるように、講義動画や電子図書、ドリルやインターネット等の準備や整備を行う。

協働的 な学び

問題解決場面で、解決方法がわからないときに、ペアやグループの友達と話をさせて見通しをもたせる。また、他者参照させることで、自分の考えと友達の考えを比較・検討させ、よりよい考えにさせていく。

視点3 本単元におけるICTの活用

授業の流れを共有

分数 1/2

【じゅぎょうのじゅんび】

- ・スプレッドシートを開く。
- ・チャットを開く。
- ・算数ノートの準備。

【もんだい】

教科書p212問題を読んで、今日の授業で考えることは何か考えよう。

※スプレッドシートに入力する。

かだい：もとの大きさを半分に分けたときのあらわし方を考えよう。

話し合い

分数って わかった だから ←

ちがう 同じ大きさの意味って やっぱり ←

同じ大きさではないよ 丸いピザ 同じ ←

四角いピザ 半分 同じ大きさ ←

どっち 切ったら重なる 長方形 分ける

半分じゃない どんな形でも 等しい ←

かんたん こっちは ←

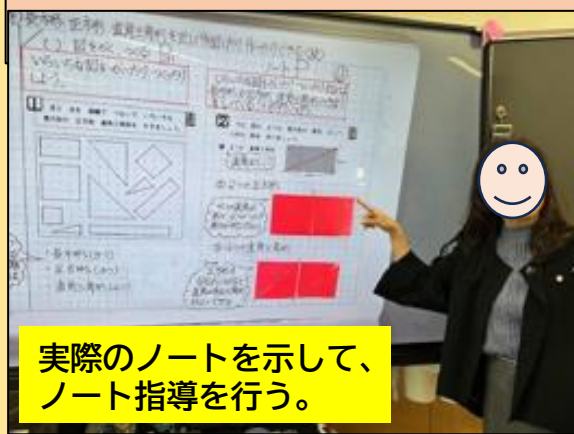
他者参照

もとの数を同じ大きさに分けるには、半分にするよということがわかった。	半分にするというときは、もとの大きさを同じ大きさにわけるということがわかった。	どの形も半分に分けることができた。	同じ大きさに分けるやり方は、いろいろあるんだということがわかった。	友だちの分け方から、ななめに分けてもいいんだということを知った。	正方形や長方形、円の形以外にも、半分に分けることができるのだろうか？
半分にわけることを、もとの大きさの二分の一ということがわかった。	二分の一があるのなら、三分の一もあるのだろうか？	もっとたくさんあるの形を二分の一に分けてみたいと思った。	もとの大きさを同じ大きさに分けるのは、かんたんだった。	どの形も半分に分けることができた。	もとの数を同じ大きさに分けるには、半分にするよということがわかった。
明日は、三分の一とか四分の一とかの学習をやってみよう。	わたしは、二分の一という言葉を知っていたので、今日の学習はかんたんだった。	半分にするというときは、もとの大きさを同じ大きさにわけるということがわかった。	同じ大きさに半分に分けて重ねるとぴったり重なる。	同じ大きさに分けることを二分の一ということがわかった。	いつでも二分の一なのだろうか？三分の一とかもあるのだろうか？
よこに切ってもたてに切ってもななめに切っても半分に分けることができる。	半分にするというときは、もとの大きさを同じ大きさにわけるということがわかった。	友だちの分け方から、ななめに分けてもいいんだということを知った。	ほかの形も半分にできるのかやってみよう。	同じ大きさに分けることを二分の一ということがわかった。	正方形や長方形をななめに切っても半分に分けることができる。

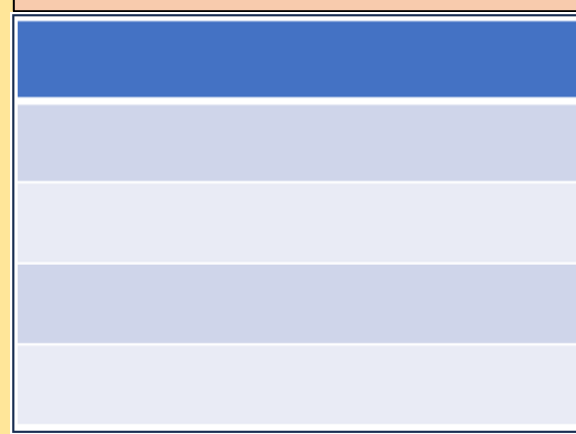
デジタル教科書の活用



指示・説明の明確化



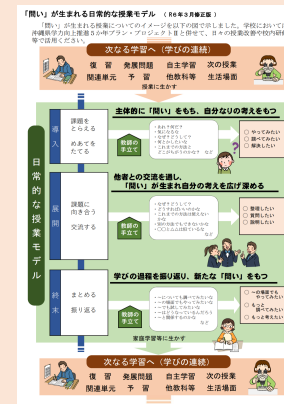
振り返り



視点4 本單元における授業デザインの構想

授業デザインを構想するにあたってのポイント

- ① **問題解決学習**の流れで進めていく。
→沖縄県教育委員会「問い」が生まれる授業サポートガイド
- ② 具体的な**操作活動**を通して指導する。
→**分数の意味理解**を実感的に捉えられる。
- ③ 子どもなりの**発想**や**表現**を引き出す。
→話し合い、他者参照、振り返り（ICTの活用）
- ④ 「半分にする」 → 「同じ大きさに2つに分ける」ことを明らかにしていく。



沖縄県教育委員会「問いが生まれる授業サポートガイド」

「問い」が生まれる日常的な授業モデル (R6年3月修正版)

「問い」が生まれる授業についてのイメージを以下の図で示しました。学校においては、沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトIIと併せて、日々の授業改善や校内研修等で活用ください。

次なる学習へ (学びの連続)



復習 発展問題 自主学习 次の授業
 関連単元 予習 他教科等 生活場面
 授業に生かす



日常的な授業モデル



次なる学習へ (学びの連続)



復習 発展問題 自主学习 次の授業
 関連単元 予習 他教科等 生活場面



日常的な授業モデルに即したICTの活用例

授業前

- 時こくと時間
- 数のあらわし方
- 分数

情報の蓄積・既習のふり返し

導入

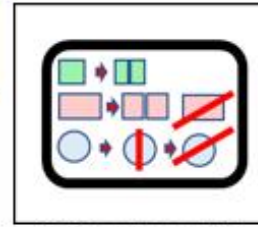


問題拡大



教科書への書き込み

展開



多様な考えを形成

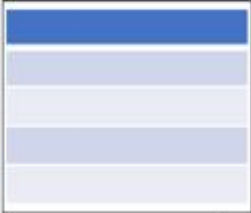


学び合い

終末



情報の共有



ふり返りの共有

授業後

- 時こくと時間
- 数のあらわし方
- 分数

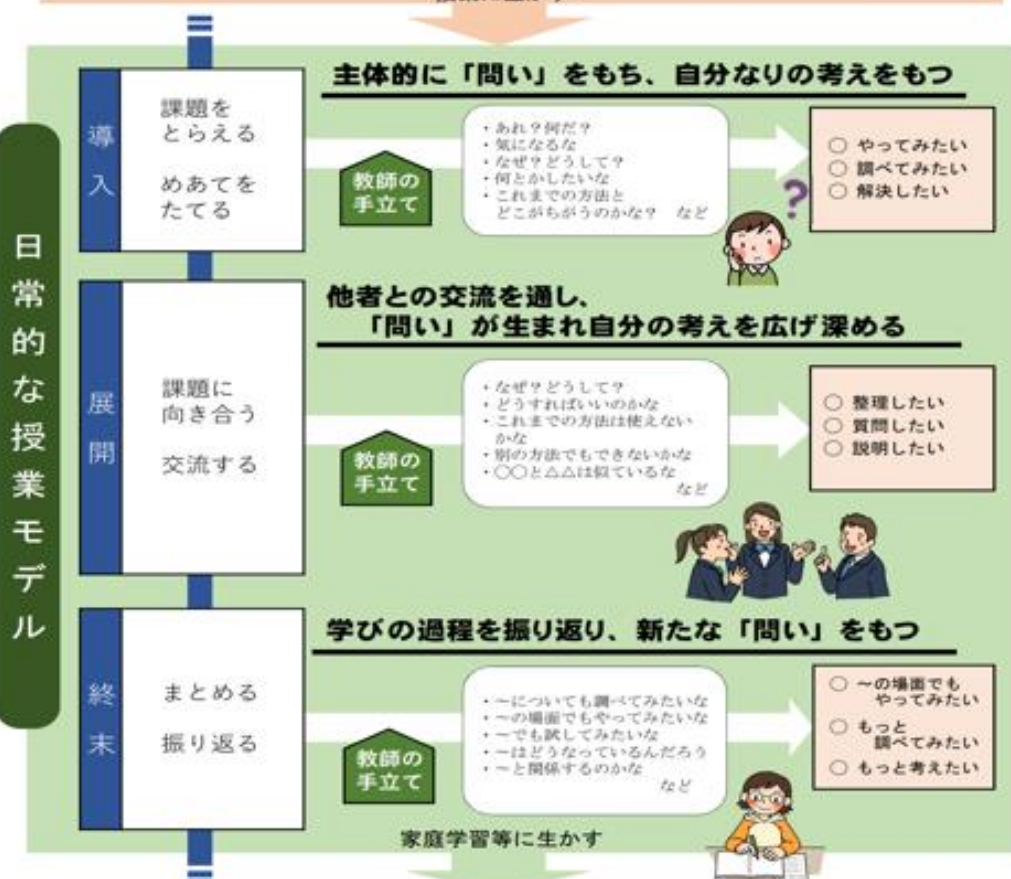
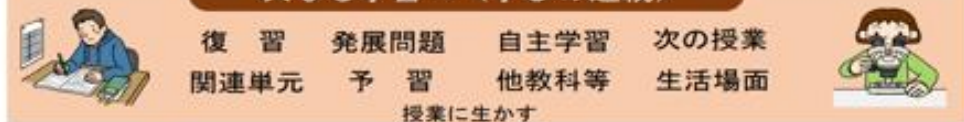


家庭学習で活用

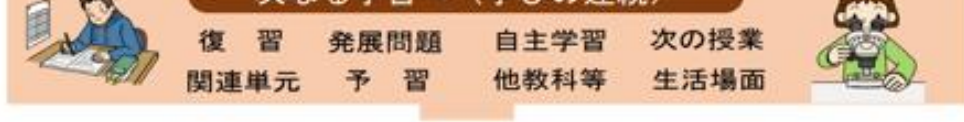
「問い」が生まれる日常的な授業モデル (R6年3月修正版)

「問い」が生まれる授業についてのイメージを以下の図で示しました。学校においては、沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡと併せて、日々の授業改善や校内研修等で活用ください。

次なる学習へ (学びの連続)



次なる学習へ (学びの連続)



学びは日々連続していてつながりがあることを表している。

主体的に「問い」をもち、自分なりの考えをもたせる。

他者との交流を通して、「問い」が生まれ自分の考えを広げ深めさせる。

学びの過程を振り返り、新たな「問い」をもたせる。

今日の学びを家庭学習や次時の学習へとつなげさせる。

「問い」が生まれる日常的な授業モデル (R6年3月修正版)

「問い」が生まれる授業についてのイメージを以下の図で示しました。学校においては、沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトIIと併せて、日々の授業改善や校内研修等で活用ください。

次なる学習へ (学びの連続)



復習 発展問題 自主学习 次の授業
 関連単元 予習 他教科等 生活場面
 授業に生かす



日常的な授業モデル



次なる学習へ (学びの連続)



復習 発展問題 自主学习 次の授業
 関連単元 予習 他教科等 生活場面



日常的な授業モデルに即したICTの活用例

授業前

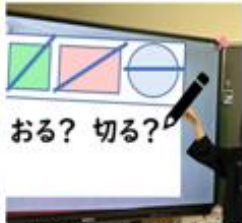
- 時こくと時間
- 数のあらわし方
- 分数

情報の蓄積・既習のふり返し

導入

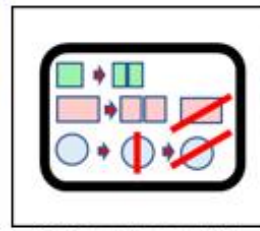


問題拡大



教科書への書き込み

展開



多様な考えを形成

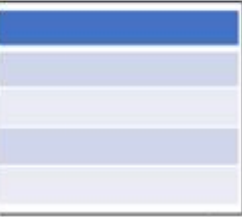


学び合い

終末



情報の共有



ふり返りの共有

授業後

- 時こくと時間
- 数のあらわし方
- 分数



家庭学習で活用

出典：沖縄県教育委員会「問いが生まれる授業サポートガイド」より

授業前

これまでの情報の蓄積から既習の学習をふり返らせる。

時こくと時間

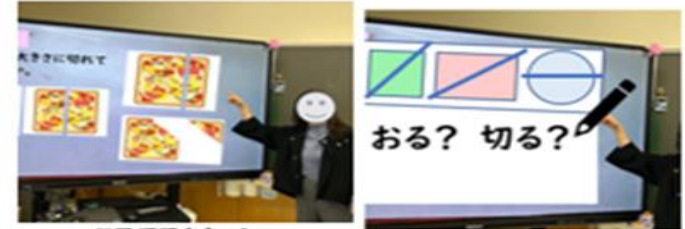
数のあらわし方

分数

情報の蓄積・既習のふり返り

導入

必要な情報だけを抜き出して表示、支援が必要な児童へのワークシートの配布等を行う。



問題拡大

教科書への書き込み

展開

自分の考えを書き込んだり、端末でお互いの考えを説明し、学び合いを図る。



多様な考えを形成

学び合い

終末

取り上げたい児童の考えや共有したい情報を瞬時に送信・表示することができる。



情報の共有

ふり返りの共有

授業後

考えを蓄積することで、家庭学習へもつなげることができる。

時こくと時間

数のあらわし方

分数



家庭学習で活用

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

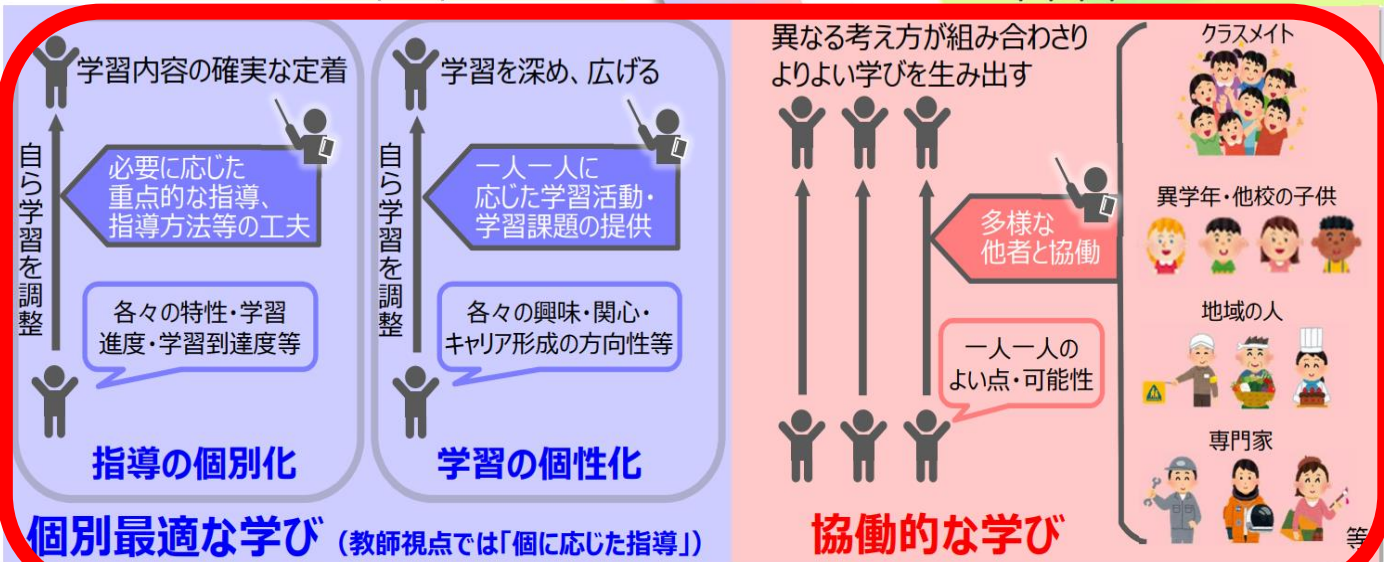
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実

授業外の
学習の改善

資質・能力の育成



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

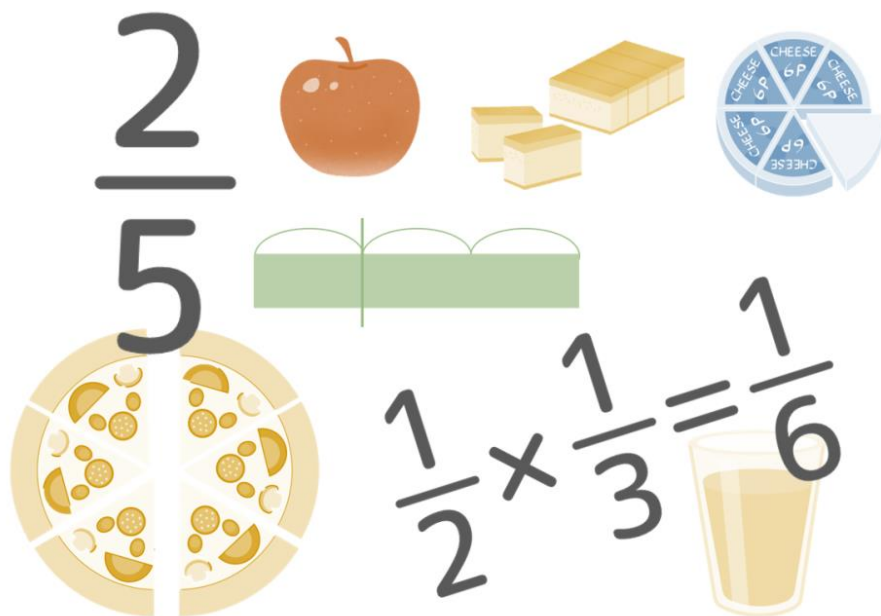
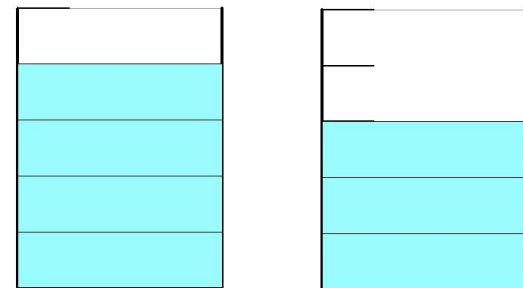
修得の意義 一人一人の学習状況に応じた学習内容を提供し、一定の期間における一人一人の学習の状況・成果を重視の考え方を生かす

修得の意義 集団に対して共通に教育を行う。一定の期間の中で一人一人の多様な成長を包含の考え方を生かす

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

視点4 本単元における授業デザインの構想

教科：小学校 算数
 単元名：第2学年「分数」
 時数：全2時間



単元名：第2学年「分数」(1/2時)

導入

問題提示

ICT
の活用
デジタル

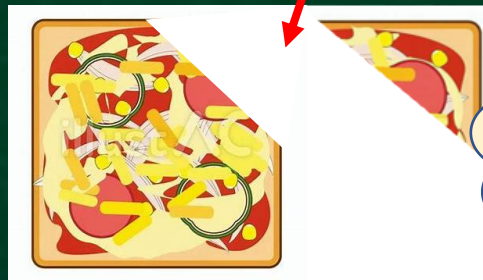
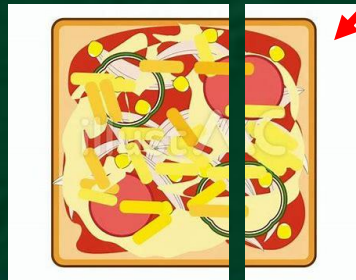
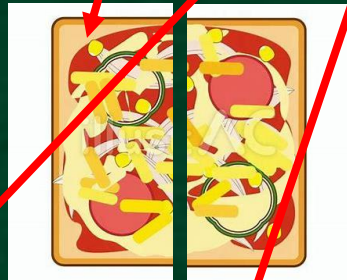
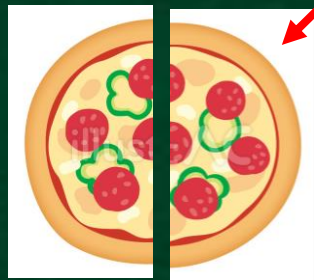
指導の
個別化
主
興味喚起

指導の
個別化
主
見通し

指導の
個別化
主
自分事

協働的
な学び
対
共創

ピザは同じ大きさに切れているでしょうか。



同じ大きさって「半分」ということ？

どんなときに「半分」といえるのかな？

□や や○の紙をつかって、それぞれ半分の大きさをつくりましょう。

半分を数で表すにはどうしたらいいのだろう？

今日のめあては何だろう？

単元名：第2学年「分数」(1/2時)

見通す

めあて

もとの大きさを半分に分けたときのあらわし方をしらべていこう。



見通し

おる？ 切る？



わたしだったら・・・

ぼくだったら・・・



指導の個別化

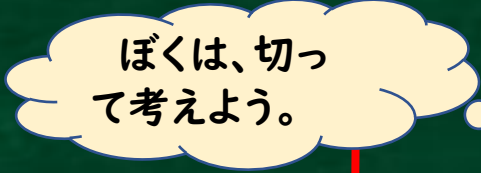
見通し

ICTの活用

デジタル



わたしは、おって考えてみよう。



ぼくは、切って考えよう。

ICT

デジタル

どうやって分けたらいいのだろう??

単元名：第2学年「分数」(1/2)

展開

指導の個別化
主
自分事

指導の個別化
主
粘り強く

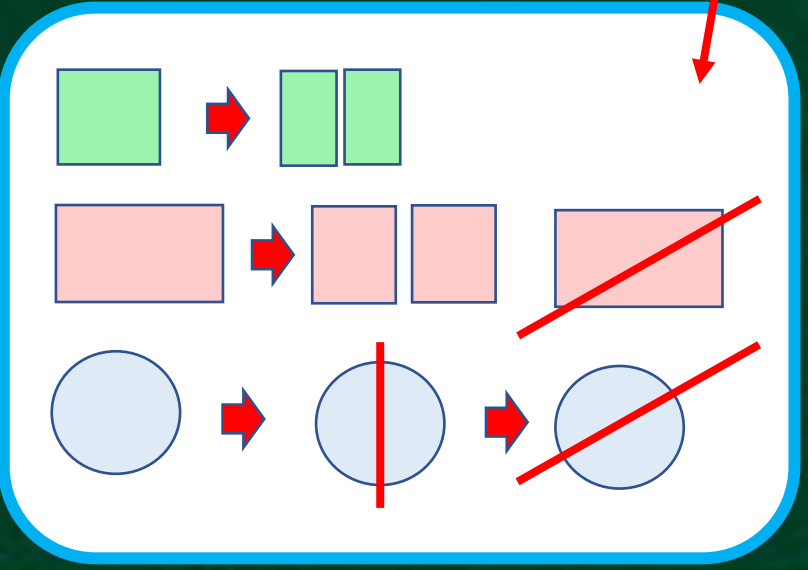
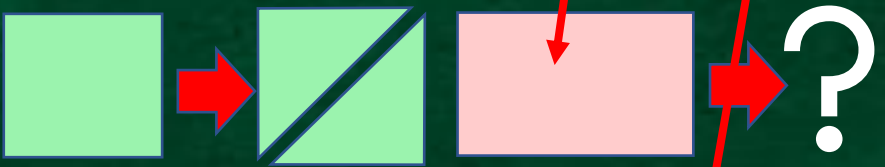
ICTの活用
ICT
コメント

協働的な学び
対
表現

ICTの活用
ICT
プレゼン

協働的な学び
対
比較

自力解決



文字化

数って わかった だから ←
うか? 同じ大きさの意味って やっぱり ←
同じ大きさではないよ 丸いピザ 同じ ←
四角いピザ 半分 同じ大きさ ←
どっち 切ったら重なる 長方形 分ける
半分じゃない どんな形でも 等しい ←
かんたん こっちは ←

他者参照

分かった。	どうして分かった。	どの形も半分に分けることができた。	同じ大きさに分けるやり方は、いろいろあるんだということがわかった。	友だちの分け方から、ななめに分けてもいいんだということがわかった。	正方形や長方形、円の形以外にも、半分に分けることができるのだろうか？
半分にわけたことを、もとの大きさの二分の一ということがわかった。	二分の一があるのなら、三分の一もあるのだろうか？	もつとたくさん分けてみたいと思った。	もとの大きさを同じ大きさに分けるのは、かんたんだった。	どの形も半分に分けることができた。	もとの数を同じ大きさに分けるには、半分にするとよいことがわかった。
明日は、三分の一とか四分の一の学習をやりたい。	わたしは、二分の一という言葉を知っていたので、今日の学習はかんたんだった。	半分にするということは、もとの大きさを同じ大きさにわけるといことがわかった。	同じ大きさに半分に分けて重ねるとぴったり重なる。	同じ大きさに分けることを二分の一ということがわかった。	いつでも二分の一ののだろうか？三分の一とか四分の一もあるのだろうか？
よこに切ってもたてに切っても半分にできる。	半分にするということは、もとの大きさを同じ大きさにわけるといことがわかった。	友だちの分け方から、ななめに分けてもいいんだということがわかった。	ほかの形も半分にできるのかやってみよう。	同じ大きさに分けることを二分の一ということがわかった。	正方形や長方形をななめに切っても半分にできる。

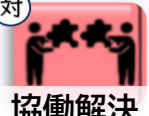
単元名：第2学年「分数」(1/2時)

展開

協働的な学び
対



協働的な学び
対



ICT
の活用



指導の
個別化



正方形や長方形を「ななめ」
に切っても半分にできるよ。



どんな形でも半分に
分けられるよ。



同じ大きさに半分に分けて重
ねるとぴったり重なるよ。

切った2つの大き
さは同じだね。



教科書では・・・



もとの大きさを同じ大きさに
2つに分けると、半分の大き
さができるんだね。

もとの大きさを同じ大きさに2つに分けた
1つ分を、もとの大きさの二分の一という。



単元名：第2学年「分数」(1/2時)

終末

指導の個別化
主
自分事

協働的な学び
対
共創

指導の個別化
深
活用

指導の個別化
深
探究

ICTの活用
振り返り

協働的な学び
主
振り返り

まとめ

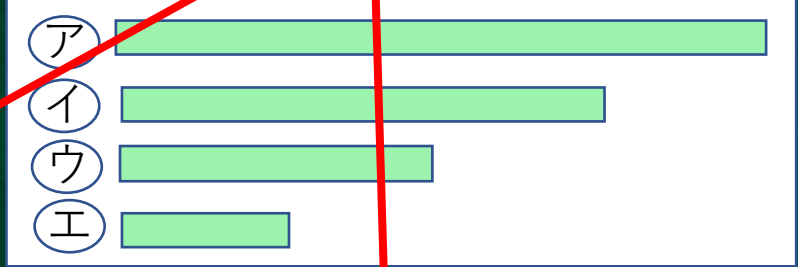
同じ大きさ

類似問題

もとの大きさを半分に分けたときのあらわし方を「二分の一」という。

アの二分の一の大きさになっているのはどれですか。

ふり返り



もとの大きさはアのテープだから・・・。

もとの大きさの半分は・・・。